

令和元年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

1. 概要

公益財団法人富山市ファミリーパーク公社は、「動植物に関する知識の普及と野外レクリエーション等を通じて市民の健全な余暇活動に役立てる」という、富山市ファミリーパークの設立趣旨に基づき事業の推進に努めた。

近年は、「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

動物管理事業では、97種 862点（令和2年3月31日現在）の動物飼育展示を行い、日本産動物及び希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜家禽の保存活用に努めた。

ライチョウ事業については、前年度に引き続き、ライチョウ基金を有効に活用しながら、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に基づく保護繁殖事業に協力し、より自然に近い方法での繁殖を目指し、母鳥による抱卵・育雛に取り組んだ。

里山生態園については、平成30年に発生したニホンザルの脱出事故をうけて、外部の有識者を委員とする「富山市ファミリーパーク里山生態園の在り方検討会」を開催し、里山生態園の展示コンセプトや展示動物の飼育管理、施設改修など総括的に里山生態園の在り方について検討した。

また、熱帯鳥類の保全を目的として富山市へ寄附されて設立された基金による、熱帯鳥類の飼育展示施設の建設計画に参画し協議を行った。

呉羽丘陵を活用しながら丘陵にある里山の魅力を引き出し、楽しみながら自然体験ができる野外教育・環境教育の場の充実を図った。さらに、呉羽丘陵を舞台にした「富山市 SDGs 未来都市」に関する取組にも引き続き参画し、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら事業を推進してきた。

(1) 入園者利用状況について

令和元年度の入園者数は348,101人となり、これまで歴代1位であった平成27年度を8,871人上回り記録を更新した。前年度と比較すると39,701人の増加となり、要因としては、ニホンライチョウの一般公開や10月にレッサーパンダの双子の公開が人気となったことと、ゴールデンウィーク及び11月から1月にかけて概ね天候に恵まれたことなどにより、入園者数が大幅に増加した。入園料収入、遊具使用料収入についても、入園者数の増加に伴い増収となった。

① 施設利用状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

区分		令和元年度		前年度実績		
		人数	金額	人数	金額	
入 園 者	有 料 エ リ ア	個人（大人）	59,418人	29,709,000円	53,134人	26,567,000円
		70歳以上	438人	109,500円	401人	100,250円
		団体・大人	7,528人	3,011,200円	7,195人	2,878,000円
		共通パスポート	3,550人		3,641人	
		有料計	70,934人	32,829,700円	64,371人	29,545,250円
		無料計	174,120人		150,218人	
		※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者 19,322人 組数(6,325組)			17,695人 組数(5,823組)	
		計	245,054人		214,589人	
	無料エリア計	103,047人		93,811人		
	小計	348,101人	32,829,700円	308,400人	29,545,250円	
遊 具 使 用 者	有 料	子供列車	16,076人	3,215,200円	15,467人	3,093,400円
		アニマルコースター	17,448人	3,489,600円	17,528人	3,505,600円
		メリーゴーランド	16,331人	3,266,200円	14,802人	2,960,400円
		パラトルーパー	23,623人	4,724,600円	20,222人	4,044,400円
		キャラクターカー	14,279人	2,855,800円	13,692人	2,738,400円
		ボート	4,911人	1,964,400円	4,703人	1,881,200円
		メロディーペット	1,001人	200,200円	891人	178,200円
		電気周遊車	11,224人	1,122,400円	11,096人	1,109,600円
		計	104,893人	20,838,400円	98,401人	19,511,200円
	無料計	3,283人		3,606人		
小計	108,176人	20,838,400円	102,007人	19,511,200円		
合計		53,668,100円		49,056,450円		

② 売店・食堂等売上状況

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

		令和元年度	前年度実績	備 考
販 売 収 入		32,059,103円	28,698,265円	
売 店	きりん食堂	5,082,573円	4,455,169円	109.87㎡
	かふえムー	5,922,720円	5,235,599円	55.00㎡
	2店計	11,005,293円	9,690,768円	164.87㎡
食 堂	きりん食堂	3,067,330円	2,940,930円	309.13㎡ 24卓 120脚
	かふえムー	6,738,430円	6,214,440円	250.00㎡ 26卓 105脚
	2店計	9,805,760円	9,155,370円	559.13㎡ 50卓 225脚
悠々ワゴン		579,800円	594,000円	
出 店 等		4,675,200円	3,575,377円	
ホースライド		5,993,050円	5,682,750円	ゆらゆら乗馬、人参販売
その他の収入		6,890,795円	6,407,760円	
ベビーカー使用料		261,800円	294,000円	60台
バーベキュー使用料		2,498,200円	2,238,500円	ガス：10人掛×1卓・8人掛×9卓 炭：10人掛×5卓・4人掛×5卓 計 152脚
自動販売機手数料		2,262,480円	2,550,900円	
そ の 他		1,868,315円	1,324,360円	移動販売手数料、バッテリーカー等
雑 収 入		34,001円	32,300円	段ボール等リサイクル料
事 業 収 入 計		38,983,899円	35,138,325円	

2. 動物管理事業

生物の多様性や、人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることを目的に、動物の展示や教育啓発に努めた。また、コレクションプランに基づき、日本産動物および外国産希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜の保存活用に努めた。

また、昨年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に協力し、ライチョウの飼育繁殖技術の向上に努めた。

(1) 飼育展示事業

生物の多様性を伝えるために、新規に天然記念物であるシラコバトを搬入し展示公開した。レッサーパンダやシバヤギの繁殖に伴い親子の展示を行い、いのちの大切さを伝えた。また、繁殖に取り組むためにリスザル（オス1頭、メス2頭）やミゾゴイ（メス1羽）などを搬入した。

主な死亡動物としては、シンリンオオカミ（オス1頭）、フンボルトペンギン（オス1羽）などがあり、高齢な動物が増加してきており、引き続き体調を注意深く観察し、少しでも長生きするようサポートしながら飼育管理に努めた。

この結果、97種862点（令和2年3月31日現在）の動物飼育展示を行った。

		種数点数
飼育動物の種数(令和2年3月31日現在)		97種 862点
内 訳	哺乳類	46種 398点
	鳥類	32種 388点
	爬虫類	8種 27点
	両生類	4種 20点
	魚類	6種 28点
	甲殻類	1種 1点
増加動物の種数(平成31年4月1日～令和2年3月31日)		29種 164点
減少動物の種数(平成31年4月1日～令和2年3月31日)		53種 285点
(公財) 日本動物園水族館協会 血統登録動物の種数		23種 92点

繁殖を目的とした貸借契約動物

	動物名
借り受け動物	<p>【哺乳類】</p> <p>コモンリスザル(2)・ワオキツネザル(1)・アムールトラ(1) アムールヤマネコ(2)・シセンレッサーパンダ(3) ユーラシアカワウソ(2)・アミメキリン(2) グレビーシマウマ(1)・ニホンカモシカ(2) シンリンオオカミ(2)・オグロプレリードッグ(1) ミーアキャット(2)・カンムリシロムク(4) ヨツユビハリネズミ(2)・ヒツジ(17)・チンチラ(1)</p> <p>【鳥類】</p> <p>スバルバルライチョウ(1)・ルリコンゴウインコ(2) ニホンコウノトリ(1)・ミゾゴイ(1)・メンフクロウ(1)</p> <p>21種 51点</p>
貸し出し動物	<p>【哺乳類】</p> <p>ニホンカモシカ(1)・グレビーシマウマ(2)・シンリンオオカミ(2) フンボルトペンギン(1)・ミーアキャット(2)・アミメキリン(1)</p> <p>【鳥類】</p> <p>スバルバルライチョウ(3)</p> <p>7種 12点</p>

(2) 繁殖研究事業

ニホンザルやホンシュウモモンガ、ホンシュウジカ、アカハシハジロなどの日本産動物の継続的な繁殖に努め、成果をあげた。また、国際希少野生動物種であるカンムリシロムクやレッサーパンダ、天然記念物のシラコバトの繁殖に成功し、繁殖個体が順調に成育した。

また、国際希少野生動物であるアムールトラ、グレビーシマウマ、フンボルトペンギンや、日本産動物であるホンドテンやニホンカモシカなどについては引き続き繁殖研究を推進した。

主な繁殖動物

動物名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
カンムリシロムク	2	1	自然	4/10, 11/15
ニホンザル	4	2	自然	4/21, 5/26 6/27, 6/29

ホンシュウモモンガ	5	4	自然	5/6, 9/1
ウズラ	12	10	人工	5/31, 6/1, 6/20
ホンシュウジカ	3	3	自然	6/4, 6/14, 7/14
アカハシハジロ	3	3	人工	6/30
ヤギ	1	1	自然	6/30
スバルバルライチョウ	4	1	人工	7/17, 7/18
ニホンライチョウ	8	5	人工	7/3
シセンレッサーパンダ	2	2	自然	7/1, 7/2
シラコバト	1	1	自然	11/1
オリオオコウモリ	2	2	自然	1/23, 2/8
合計	47	35		

(3) 教育普及事業

各種動物ガイドや「ごっくんタイム」などの定例の教育活動を通して生物の多様性を伝えた。

子供動物園では、「動物なるほど教室」などで、動物とのふれあいを通して、生物の多様性や人と動物のかかわり、命の大切さを伝えた。

また、季節に応じた催し物を企画・実施し、さまざまな視点から動物の知識の普及啓発に努めた。8月には小学生を対象にした「夏休み 飼育体験」を行った。

小中学校の総合的な学習や「14歳の挑戦」などの職場体験や高校・大学の課外実習、教員等を対象とした研修などを受け入れ、動物を通じた教育活動を実施した。

さらに、他施設や団体との共催・協力事業において動物に関する普及啓発に努めた。飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、展示や各種研究会、講演会、印刷物などで発表した。

事業名	実施回数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう	106回	3,779名
オオカミにお肉をあげよう	103回	2,275名
雨の日ガイド	3日間	300名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー	326回	28,481名
動物なるほど教室	10日間	659名
親子クラフト体験	6回	101名

③ごっくんタイム	3,240回	22,290名
④催し物事業		
a. 春開園企画（3月15日からの継続） ・「天然記念物クイズ」 ・「富山の特別天然記念物」ガイド	36日間 16回	158名
b. 飼育の日 ・「動物園の台所探険ガイド」	11回	165名
c. ゴールデンウィーク ・ヒツジの毛刈り	5回	950名
d. 国際生物多様性の日 ・パネル展示	8日間	
e. 世界カワウソの日イベント ・キーパートーク ・スペシャルごっくんタイム ・パネル展	2日間	160名
f. オウム・インコの日イベント ・キーパートーク ・スペシャルごっくんタイム	2日間	70名
g. ホタルと夜とファミリーパーク ・動物解説 ・コンタクトコーナー	2日間 2日間	200名
h. ドリームナイト・アット・ズー ・動物解説 ・コンタクトコーナー	1日間	463名 150名
i. 夏休みイベント ・夏休み 飼育体験	4日間	48名
j. 8月夜間開園イベント ・動物スポットガイド ・夜のゆらゆら乗馬 ・夜のどうぶつふれあいコーナー	3日間 3日間 3日間	3,820名 74名 550名
k. 悠久の森イベント ・パネル展 ・スペシャルごっくんタイム	1日間 6回	125名
1. 国際レッサーパンダデーイベント ・パネル展示 ・キーパートーク ・スペシャルごっくんタイム	71日間 3回 5回	— 100名 135名

m. 秋の夜間開園イベント		
・動物スポットガイド	1日間	1,700名
・夜のどうぶつふれあいコーナー	1日間	400名
n. 輝けいのちの集い 2019		
・パネル展	1日間	—
・動物とのふれあおう	1日間	150名
・大島絵本館共同イベント 「森の木陰で読み聞かせ」	1日間	20名
o. ツシマヤマネコの日イベント		
・パネル展示	11日間	—
・キーパートーク	5回	50名
・スペシャルごっくんタイム	5回	95名
p. 文化の日イベント		
・「さわって感じてみよう家畜のひみつ」	3日間	237名
q. レッサーパンダの命名式	1日間	10名
r. 冬季開園イベント		
・クリスマスごっくんタイム	2日間	170名
干支展「ネズミ」イベント		
・カピバラとの記念撮影	7日間	135名
・パネル展	56日間	未集計
・干支特別ガイド「ネズミ」	19日間	146名
⑤ファミリーパーク動物友の会 例会	4回	95名
⑥教育事業（実習・研修）		
a. 小学校・中学校 校外学習（総合的な学習など）	14校	766名
b. 社会に学ぶ「14歳の挑戦」	2校	4名
c. 大学実習		
・富山大学人間発達科学部学外実習	3校	140名
・富山大学理学部 基礎生物学セミナー		
・富山国際大学こども育成科学部		
d. 社会人		
・11年次教職員研修会	1団体	2名
e. 問題を抱える子供らの自立支援事業		
・「動物ふれあい体験活動」	1団体	40名
f. その他、依頼による園内解説	1団体	26名
⑦第36回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール		
・応募	67日間	548点
・表彰式（特選）	1回	36点

・入賞作品展示	96日間	219点
⑧第44回動物愛護に関する標語の募集		
・応募	31日間	368点
・入賞作品掲示	11日間	5点
⑨協賛・共催・協力事業		
a. 地域連携事業 古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」	4日間	74名
b. 外部への講師派遣		
・動物愛護研修会での講義	1団体	20名
・富山県文化財保護指導委員研修会での講義	1団体	11名
・富山刑務所「社会復帰支援指導」での講演	1団体	18名
・富山大学での非常勤講師としての講義	1団体	130名
c. 研究協力		
・京都大学 テンによる種子散布についての研究協力 ニホンノウサギの冬季毛色多型について 遺伝子解析に基づいた研究協力		
・富山大学 小学校理科の授業開発への協力」		
d. 研究発表		
・(公社)日本動物園水族館協会 第67回動物園技術者研究会 「レッサーパンダ親子の巣内行動から見る 育児段階について」 「飼育下ニホンライチョウにおいて 認められた消化器疾患について」		

(4) 在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努めた。また、在来馬を活用した乗馬や馬車体験を行うとともに、夏には小学生を対象とした「夏休み馬の学校」を実施し、事業の充実を図った。そのほか、障がいのある方を対象とした乗馬体験やふれあい体験なども行った。

(5) ライチョウ保護増殖事業

今年度は、より自然に近い方法での繁殖を目指し、母鳥による抱卵・育雛に取り組んだ。環境省の保護増殖事業において初めて母鳥の抱卵により8羽のヒナが孵化したが、そのうち3羽は母鳥に突かれて死亡したため、残りの5羽を人工育雛に切り替え成育させた。一方、12月には成鳥のオス1

羽が死亡した。現在、ファミリーパークではオス7羽、メス5羽の計12羽のニホンライチョウを飼育している。

また、「ライチョウ基金」を有効に活用し、(公社)日本動物園水族館協会や、国内飼育園館などと連携して情報交換や共同研究を推進し、飼育繁殖技術の向上および普及啓発に努めた。

平成31年3月からニホンライチョウの展示を開始し入園者および各種団体などを対象とした解説により、ライチョウを取り巻く状況についての普及啓発に努めた。また、ホームページやSNSなどにライチョウの保護増殖事業の取り組みについて公開した。

(6) ホクリクサンショウウオ保護増殖事業

継続飼育している呉羽丘陵産の個体により、飼育下での孵化技術の確立に向けた研究を行い生息域外保全に取り組んだ。

(7) 里山生態園事業

平成30年に発生したニホンザルの脱出事故をうけて外部の有識者を委員とする「富山市ファミリーパーク里山生態園の在り方検討会」を開催し里山生態園の展示コンセプトや展示動物の飼育管理施設改修など総括的に里山生態園の在り方について検討した。

(8) 富山市栗原路子記念熱帯鳥類保全事業への参画

富山市への寄付により設置された基金を活用し、富山市ファミリーパークでの熱帯地域の鳥類の保全を目的とした施設の整備に向けて富山市の基本設計策定に向けて参画した。また、富山市ファミリーパーク公社への寄付により、職員研修もかねて、海外の熱帯鳥類飼育動物園の視察をおこなった。

3. 地域事業

(1) 悠久の森事業

平成19年度から事業を立ち上げ、「悠久の森実行委員会」(会長 市川徹雄・前古沢地区自治振興会会長)の運営に積極的にかかわり、くれば悠久の森事業を通じて、地域施設や住民と連携した事業に積極的に取り組んだ。

事業名	実施日数	参加者数
①悠久の森実行委員会(役員会含む)	3日	99名
②悠久の森コーディネーター会	4日	37名
③悠久の森2019 森であそぼう	2日	6,537名

④くれは悠久の森連携事業 (くれは里山ネット)	先生の手づくり和紙 卒業証書を生徒達に	1日	5名
	和紙の出前講座	1日	41名
	夏休み梨狩り体験と ファミリーパーク散策 の集い	1日	23名
⑤ホクリクサンショウウオ 保全プロジェクト事業	出前授業	9日	303名
	生息地調査	4日	10名
	生息地整備	1日	7名
	サンショウウオの里親	35日	55名
合 計		60日	7,117名

(2) 輝け！いのちの集い事業

「輝けいのち協議会」との共催で、命の大切さの普及啓発を目的としたイベントを実施した。

事業名	実施日数	参加者数
① 輝けいのち協議会	6日	58名
② 参加団体説明会	1日	12名
③ 輝け！いのちの集い2019 ～かたろう いのちのものがたり～	1日	2,506名
合 計	8日	2,576名

(3) 地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した事業に積極的に取り組んだ。

事業名	実施日数	参加者数
① 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」 (富山市立古沢保育所)	3日	44名
②ファミリーパーク出前講座 どうぶつのお話 (富山市立こども図書館)	1日	23名

③にこにこクラブ 俳句吟行句会 (富山県高齢者・障害者福祉生活協同組合 にこにこクラブ)	1日	7名
④アースディとやま 2019 (アースディとやま実行委員会)	1日	3,626名
⑤森づくり塾 (とやま森づくりサポートセンター)	1日	22名
⑥長岡住民ふれあいフェスティバル 2019 (長岡地区ふるさとづくり推進協議会)	1日	400名
⑦とやま森の四季彩親子写真教室 (とやま森の四季彩フォト大賞実行委員会)	1日	48名
⑧2019 華街道くれは祭り (富山市北商工会呉羽支部 ・華街道くれは祭り実行委員会)	1日	—
⑨大工さんに出会う日 (富山地区建築組合青年部協議会)	1日	40名
⑩不二越健康リフレッシュ (不二越健康づくり委員会)	1日	170名
⑪なかよし合宿インくれは (富山県呉羽少年自然の家)	2日	95名
⑫富山パイロットウォーク (富山パイロットクラブ)	1日	164名
⑬仁右衛門まつり (古沢自治会・仁右衛門まつり実行委員会)	1日	—
⑭ラブ・とやま 2019 夢をカタチに 名もなきモニ ュメントをつくろう (富山青年会議所)	1日	102名
⑮ファミリーパーク東ゲート花いっぱい彩り事業贈呈式 (富山西ライオンズクラブ)	1日	10名
⑯ユニセフの集い (ユニセフ倶楽部、富山県生活協同組合)	1日	19名
⑰富山こども大会 (富山市児童クラブ連絡協議会)	1日	325名
⑱くれはわくわくキッズ 秋の集い (富山県呉羽少年自然の家)	1日	58名

⑱令和元年度「SDGs-ESD 富山シンポジウム」 (富山ESD講座委員会)	1日	240名
合 計	22日	5,393名

(4) ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動の誘致に努めるとともにその活動の支援を積極的に行った。

団 体 名	活 動 名	実施日数	参加者数
① 市民いきもの メイト	総会・運営委員会等	24日	140名
	アースデイとやま 2019 出店	1日	28名
	くれは悠久の森 2019 出店	1日	5名
	輝け！いのちのつどい出店	1日	34名
	新年初顔合わせ	1日	15名
	ESD富山シンポジウム 参加	1日	3名
	里山教室	11日	215名
② 呉羽丘陵にホテル を呼ぶ会	会合	2日	16名
	ホテル学習会	1日	16名
	会員によるホテル観察会	1日	68名
	富山市立古沢小学校2・3年 生によるカワニナ採集・放流	2日	34名
	ホテルと夜とファミリーパ ーク ホテル観察会	2日	3,905名
	ホテル夜間開園・ホテル解説	2日	11名
③ 富山県ホテルの会	総会	1日	46名
	執行部会・役員会等	6日	47名
	北信越ホテル研究交流会 (富山県)	2日	67名
	ヒメボタル生息調査	1日	7名
④ きんたろう倶楽部	インデペンデント・ボードウ オーク整備	13日	160名
	ハーブ坂整備	6日	30名

	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1日	153名
	きんたろうの森・わくわくの森整備	11日	116名
	総会・記念講演会	1日	32名
	悠久の森 準備・実施	3日	45名
	輝け！いのちの集い2019	1日	13名
	くれはNAV I養成講座	1日	14名
	わくわくの森まつり・準備	2日	74名
⑤ 富山市体育協会	とやま健康ウオーク2019・呉羽丘陵ウオーク	1日	300名
⑥ 呉羽丘陵フットパス推進会議	呉羽丘陵フットパス月いちウオーク	10日	569名
	フットパス整備	10日	72名
⑦ 古沢地区ボランティア	植樹地草刈	4日	20名
⑧ 情報労連ボランティア	幼竹伐採	1日	57名
⑨ 富山ライオンズクラブ1R2Z合同アクティビティ	桜の苗木植樹	1日	66名
⑩ 連合富山地協地域交流ボランティア	ペンキ塗り	1日	68名
⑪ 古沢小学校開園前ボランティアの集い	卒業生による記念植樹	1日	15日
合 計		128日	6,461名

(5) 活性化事業

ゴールデンウィークや夏休みなど時季に合わせた事業を実施した。

事業名		実施日数	参加者数
① パステルアート	母の日、父の日、クリスマス、バレンタインのカード作り	4日	88名
② ニホンライチョウ公開記念	ニホンライチョウ公開記念 缶バッジプレゼント	3日	492名

③ 開園記念日	里ノ助の一日園長	1日	200名
④ GW イベント	天然記念物クイズGWスペシャルクイズラリー	10日	6,437名
	里ノ助とあそぼうスペシャル「みんなでおどろう」	1日	100名
	里ノ助のきまぐれ散歩	5日	490名
⑤ ホタルと夜とファミリーパーク	里ノ助お見送り	2日	130名
⑥ 夏休みイベント	夏休み自由研究「天然記念物図鑑をくろう」	42日	302名
	「とやまの木」であそぼう	3日	230名
	水あそびジャブジャブ広場	12日	—
⑦ 8月ナイトズーイベント	六せん広場にライチョウを描こう	2日	130名
	夜のどうぶつ観察会	2日	680名
⑧ 9月ナイトズーイベント	里ノ助とあそぼうスペシャル「プチ運動会」	1日	100名
	秋の鳴く虫音楽会	1日	350名
	六せん広場にライチョウを描こう	1日	—
	押し花コースター作り	1日	32名
⑨ ハロウィンイベント	ハロウィン・コスプレ・ステージ	27日	—
	ハロウィンのお菓子バックをつくろう	1日	12名
	里ノ助のハロウィン散歩	4日	180名
⑩ クリスマスイベント	クリスマス・フォトスポット	25日	—
	里ノ助のクリスマス会	1日	100名
	クリスマスカップル無料デー	2日	(239組) 478名
⑪ お正月イベント	里ノ助とお正月遊び(けん玉、羽根つきなど)	9日	—
	里ノ助とお正月遊びふれあい	4日	100名

	里ノ助とあそぼうスペシャル「巨大かるた大会」	1日	50名
	餅つき体験	1日	50名
	餅のふるまい	1日	180名
⑫ 冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	54日	255名
	温かいスーププレゼント	54日	893名
	里ノ助のぬりえコーナー	54日	—
	毛糸でレッサーパンダのしっぽポンポンをつくろう	1日	16名
	ライチョウの毛玉ポンポンを作ろう	1日	15名
	絵本の読み聞かせ	1日	50名
⑬ 春開園イベント	里ノ助と野間馬のお出迎え	1日	50名
	桜の押し花コースター作り	1日	16名
⑭ 里ノ助イベント	里ノ助とあそぼう	13日	332名
⑮ カフェ里ノ助 -園長とコーヒーブレイク-	ニホンライチョウについての解説・質疑・意見交換	1日	16名
合 計		348日	12,325名

(6) 夜間開園事業

開園時間を延長し、6月にはホテル観察や8月、9月には夏の夜間の動物や里山の自然などを楽しむことのできる事業を実施した。

事業名	実施日数	入園者数
① ホテルと夜とファミリーパーク 2019	2日	3,905名
② 夏の夜間開園	3日	8,775名
③ 9月の夜間開園	1日	3,577名
合 計	6日	16,257名

(7) 広報事業

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内など情報の発信に努めた。

イベントに関するリーフレットを市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布し、ファミリーパークの事業をより多くの方に周知することに努めた。また、近隣県にも、雑誌や新聞、テレビ等の媒体で周知をおこなった。インターネットを用いた広報としては、既存のホームページ、フェイスブック、ツイッターを運用した。ファミリーパークのホームページのアクセス数は、昨年より多い272,423件（前年度264,881件）となった。

このほか、富山市広報課を通じて年間85件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

主な報道リリース

期 日	タ イ ト ル
4月15日	飼育の日イベントについて
4月23日	開園記念日イベントとG.W. イベントについて
6月17日	二ホンライチョウの抱卵について
6月18日	「ホテルと夜とファミリーパーク2019」開催について
6月28日	ドリームナイト・アット・ザ・ズーの開催について
7月5日	二ホンライチョウの孵化について
7月5日	二ホンライチョウヒナの死亡について
7月12日	レッサーパンダの繁殖について
8月11日	シンリンオオカミ(サスケ)の死亡について
8月22日	悠久の森2019の開催について
9月9日	輝け！いのちの集い2019の開催について
10月9日	レッサーパンダ親子の公開について
2月12日	「カフェ里ノ助-園長とコーヒーブレイク」について
2月20日	ライチョウの搬入について
3月11日	富山市ファミリーパークの春の開園について

4. 里山事業

(1) 里山活用事業

里山の見どころをホームページや園内情報掲示板で発信するとともに、園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころをテーマとした「自然だより」や「里山情報」を園内掲示し、情報発信を充実した。

また、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」の実施や園内ウォーク看板を通して、呉羽丘陵でのウォーキングを推進し、拠点としての機能を強化し、利用者の増加に努めた。

事業名	実施日数	参加者数
① 「ホテルと夜とファミリーパーク」 ホテル観察会	2日	3,905名
② ウォーキングマップ「ファミリーパークを歩こう」	常時設置	—
③ ムササビ村 観察モニター	常設展示	—
④ 野鳥観察舎 情報展示	常設展示	—
⑤ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
⑥ 園内情報掲示板「里山情報」	常設展示	—
合計		3,905名

(2) 里山保全管理事業

とんぼの沢の湿地復旧を行ない、ホテルやカエルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の確保・維持に努めた。

また、東老田自治会と協力し、園内・六泉池の池干しと外来魚の捕獲・駆除を行うことで、ため池の生態系の保全に努めた。

(3) 里山整備研究事業

自然散策路の整備を行ったほか、二次林に侵出したモウソウチクやコナラ植樹地林内の藪の除伐を行い、自然植生の保護と復元に努めた。

(4) 呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業

呉羽丘陵フィールドミュージアム形成に参画し、資源循環として地域から出る梨の剪定木やモウソウチクを熱源利用する方策について調査を進めた。

また、動物や里山、資源循環などについて学ぶ環境教育プログラムの開発を進め、それを活用した行事を実施した。

事業名	実施内容
1. 製炭事業	資源循環（バイオマス） 梨剪定木の熱源利用、利用調査
2. 環境教育事業	動物・里山教育等環境教育プログラムの開発

5. ライチョウ基金事業

平成29年度に設立した基金をライチョウ保護増殖を目的に運営し、JAZAが実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」に必要な事業の支援を行った。

(1) JAZAの「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」への支援

- ① 大学等との共同調査研究
岐阜大学・日本獣医生命科学大学・中部大学
- ② 飼育繁殖にかかわる各種研究会議の開催
- ③ 給餌植物の検討とその成分分析〔新規〕
- ④ 飼育繁殖用の消耗品、備品等の購入

(2) 基金運営委員会の開催

ライチョウ基金運営委員会を7月31日に開催し、次の事項を審議した。

- ① 基金の適正管理に関すること
- ② 基金を活用した事業に関すること
- ③ その他基金の管理・運営に関して必要な事項

6. 収益事業等

経営・物販を企画し実施した。

(1) 売店・食堂等

事業名	実施日数	数
① 里山ショップの臨時開設（西口）	8日	—
② 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	19日	2,899個

③ 園内で採れた、旬の販売	18日	393袋
④ 栗拾い体験	1日	10名
⑤ すだちうどん等イベントや季節に応じたメニューの提供	75日	281名
⑥ファミパでライブ「落語とホテル観賞」	1日	50名
⑦ ナイトズー「エコランタンをつくろう」	2日	212名
⑧ 富山ガラス工房×ファミリーパーク「秋の体験ツアー」	1日	14名
⑨ 干支のクラフト「羊毛でネズミのマスコットを作ろう」	2日	57個 106名
⑩ サマージャンボ・ハロウィンジャンボ宝くじ販売	56日	

(2) ホースライド事業

事業名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曾馬）	216日	2,857名
野間馬馬車	81日	799名
障害者乗馬会 「障がいのある方のための乗馬会」	5回	25名
乗馬教室（上級）	18回	18名
乗馬教室（初級）	3回	3名
② 夏休み 馬の学校	14日	40名
③ ドリームナイト・アット・ザ・ズー体験乗馬	1回	22名
④ ナイト乗馬	5日	142名
⑤ 呉羽青少年自然の家主催 乗馬体験		
・「なかよし合宿 イン くれは」	2回	95名
・「くれはわくわくキッズ 秋の集い」	1回	58名
⑥ エサやり体験	298日	26,859名

7. 公益財団法人富山市ファミリーパーク公社役員について

(令和2年3月31日現在)

(1) 評議員会

評議員	稲 葉 實	里山倶楽部理事長
評議員	酒 井 忠 彦	富山市ファミリーパーク動物友の会会長
評議員	舟 田 安 浩	富山市建設部次長
評議員	田 畑 裕 二	元富山西ライオンズクラブ会長
評議員	村 田 友 康	富山市建設部公園緑地課長
評議員	廣 本 幸 雄	市民いきものメイト会長
評議員	村 藤 幸 作	古沢地区自治振興会会長

(2) 理事会

理事長	中 村 健 一	富山市副市長
常務理事	帯 刀 宏 隆	富山市ファミリーパーク公社
理事	鏡 森 定 信	きんたろう倶楽部理事長
理事	中 田 信 夫	富山市建設部長
理事	谷 井 光 昭	呉羽地域連合自治振興会会長
理事	岩 城 弘 一	富山市北商工会呉羽支部長
理事	安 井 俊 夫	輝けいのち協議会会長
監事	太 田 泰 文	富山市会計管理者
監事	本 江 均	呉羽ハイツ支配人

8. 理事会等議決事項について

(1) 評議員会 平成31年4月1日開催

- ・理事の選任について

(2) 理事会 平成31年4月1日開催

- ・常務理事の選定について

(3) 理事会 令和元年5月22日開催

- ・補正予算について
- ・平成30年度事業報告について
- ・平成30年度収支決算について
- ・定時評議員会の招集について

(4) 評議員会 令和元年6月6日開催

- ・平成30年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）並びに付属明細書の承認の件について
- ・評議員1名の選任について

(5) 理事会 令和2年3月25日開催

- ・令和元年度補正予算について
- ・令和2年度事業計画について
- ・令和2年度収支予算について

(6) 理事会 令和2年3月27日開催

- ・理事の選任について

9. 基本財産等の管理について

- (1) 基本財産 30,000,000 円
- ① みずほ信託銀行 10,000,000 円
預入期間 平成30年4月16日～令和5年4月16日
 - ② 三井住友信託銀行 10,000,000 円
預入期間 平成30年4月16日～令和5年4月16日
 - ③ なのはな農業協同組合 10,000,000 円
預入期間 平成30年4月10日～令和5年4月10日
- (2) 定期預金及び投資有価証券 208,642,809 円
- ① 北陸銀行 3,104,809 円
預入期間 令和元年5月27日～令和2年5月27日
 - ② 北陸銀行 5,538,000 円
預入期間 令和元年9月26日～令和2年9月26日
 - ③ 北陸銀行 10,000,000 円
預入期間 令和元年9月26日～令和2年9月26日
 - ④ 北陸銀行 10,000,000 円
預入期間 令和元年9月25日～令和2年9月25日
 - ⑤ 富山第一銀行 10,000,000 円
預入期間 令和元年9月25日～令和2年9月25日
 - ⑥ 富山信用金庫 10,000,000 円
預入期間 令和元年9月20日～令和2年9月20日
 - ⑦ 北國銀行 10,000,000 円
預入期間 令和2年4月9日～令和3年4月9日
 - ⑧ みずほ銀行 10,000,000 円
預入期間 令和2年4月28日～令和3年4月28日
 - ⑨ 富山銀行 10,000,000 円
預入期間 令和2年4月9日～令和3年4月9日

⑩ 北陸労働金庫	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 4 月 8 日～令和 3 年 4 月 8 日
⑪ 福井銀行	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 26 日～令和 3 年 3 月 26 日
⑫ 富山市農協	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 4 月 6 日～令和 3 年 4 月 6 日
⑬ ゆうちょ銀行	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 27 日～令和 3 年 3 月 27 日
⑭ 新湊信用金庫	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 30 日～令和 3 年 3 月 30 日
⑮ 第四銀行	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 4 月 30 日～令和 3 年 4 月 30 日
⑯ あおば農協	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 4 月 2 日～令和 3 年 4 月 2 日
⑰ 高岡信用金庫	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 23 日～令和 3 年 3 月 23 日
⑱ にいかわ信用金庫	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 23 日～令和 3 年 3 月 23 日
⑲ 山田村農協	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 18 日～令和 3 年 3 月 18 日
⑳ 富山県信用組合	10,000,000 円
預入期間	令和 2 年 3 月 13 日～令和 3 年 3 月 13 日
㉑ 三菱 UFJ モルガン	
スタンレー証券	20,000,000 円
保有期間	平成 30 年 1 月 30 日～令和 10 年 1 月 28 日